

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	みやき町立三根東小学校 児童数 147人	担当者名	福井 朋美・牛島 綾子
住所	郵便番号 840-1102 みやき町大字天建寺2400番地	電話番号	0942-96-3106

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	『読書大好き』目指せ！一人100冊
	取組期間	令和3年4月8日～令和3年11月30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	147人	実施日数	130日	読書冊数	21,316冊	連携した団体数	2団体
	取組内容（概要）	<p>①目標冊数への挑戦（毎月が多読賞者の掲示、学年別ブックリストの活用、読書スタンプ）</p> <p>②環境整備（季節や学校行事ごとの展示、「いのち」のコーナーの設置、掲示板の活用、読み聞かせボランティアグループや図書委員お勧めの本コーナー、新刊書コーナー）</p> <p>③図書館まつり（図書委員による宣伝、期間中の貸出数増加、クイズコーナー、読書でパズル、しおりコンテスト、1日図書委員体験、ブックリスト（みやき町推奨）の推進～はらぺこあおむし読書チャレンジ～）</p> <p>④毎週木曜日、地域の読み聞かせボランティアグループや校長、図書司書補による読み聞かせ）</p> <p>⑤学年別教科書掲載図書リストの作成とリスト本コーナーの設置</p>						
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での貸出になり、分散貸出を実施する。 ・目標貸出数100冊（高学年80冊）を達成した児童が、1学期までに多数いたため、学年チャンピオンを修了式に校長から表彰した。 （多読賞は放送で紹介） ・貸出の際、貸出画面に現在の総貸出数を表示したり、声かけをしたりする。 ・読書スタンプ（10冊読むごとにスタンプ1個、50冊達成ごとにプレゼント）を活用し、読書意欲を継続させる。 ・多読賞やイベントなどでは、図書委員会による手作りのプレゼントを渡し称賛する。 ・ブックリストの読書推進のため、1冊読むごとに「あおむしの体ピース」を1枚もらえるようにする。それを、全校みんなでつなげていき、「あおむしを成長させよう！」と呼びかけることで、みんなで読書に取り組もうとする雰囲気を高めていった。さらに、10冊読むごとにプレゼントも用意し、頑張りを称賛した。 ・開発的生徒指導として本校が実施している「出番・役割・承認・称賛活動」の一環 							

	<p>として、図書委員の出番をつくり、図書館まつりの広報活動を工夫させた。多読賞の賞状作成やスタンプ押しなど、委員会の児童が主体的に活動することで、読書推進の役割を果たし、その姿を学校便りなどでも取り上げて称賛した。委員会活動のやり甲斐感の育成にもつなげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、読み聞かせの時間が随分削減された。読み聞かせボランティアの方には、ポップ作成によって、児童へのお勧めの本の紹介をしていただいた。
<p>取り組んだ感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書スタンプや多読賞、プレゼントなどが読書意欲の継続につながっている。 ・昼休みなどの図書利用が学年ごとで少ないため、図書館まつりは、2か月ほど長期間で行った。様々なイベントを、時期を分けて計画したことで、児童が「図書館に行きたい！本を読みたい！」という思いを持ち続けながら図書館に足を運ぶことができ、図書館が児童にとって身近な存在となった。 ・11月26日現在の目標達成者は、1～4年（94名）が86人、5・6年（53名）が46人となり、達成率は約90%である。
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、読書スタンプや表彰など、図書委員会のアイデアを生かしながら読書活動への頑張りを認めたり称賛したりする企画を工夫し、読書意欲の継続につなげていく。さらに、図書委員会のメンバーによる創意工夫ある活動内容にも継続的に取り組んでいく。 ・週に1回は図書館の利用ができるように、給食の放送を利用し、前日と当日に図書利用できる学年を放送している。毎日放送をするようになってから、「週に1度は図書館へ行こう！」という意識が根付いたようである。また、図書バックの忘れもほとんどなくなり、図書の本を読む習慣につながっている。 ・週1回利用できていない児童には、図書委員が呼びかけたり、図書司書補が担任へ報告したりするなどして、週1度の図書室利用を推進している。 ・児童一人あたりの年間貸出数については、平成30年度から年々増加傾向にある。（平成30年度…153冊、平成31年度…161冊、令和2年度…196冊） 今年度も11月26日現在で、145冊に達している。また、約90%の児童が、1回の利用で3冊借り、1か月では約12冊借りることができている。 ・コロナ禍で、図書館まつりで計画していた読書郵便や読み聞かせ活動などいくつか実施できなかった。図書館まつりは終わったが、12月上旬を「お楽しみ読書期間」とし、図書委員のメンバーで、児童への読み聞かせを行ったり、全学年貸出数1冊（プラス券利用で5冊まで可）のフリー開放を行ったりする予定である。

【取り組み内容資料】

①目標冊数への挑戦

よんだかす	なまえ	がくねん
1	120	2
1	120	2
3	116	2
4	115	2
5	114	2
5	114	2
7	112	2
8	110	2
9	109	2
9	109	2
11	108	2
11	108	2
13	106	2
14	102	2
14	102	2
16	101	2
16	101	2
18	100	3
19	99	3
19	99	6

毎月の多読者の掲示

書名	著者	読んだ日	おもしろさ	
1 どうぞのいす	藤田 実子	11月1日	☆☆☆☆	
2 んぱ	林 朝子	月 日	☆☆☆☆	
3 めいこ	あか ぼん	11月1日	☆☆☆☆	
4 どすけ	どしゃぶり	おーなり 由子/文	月 日	☆☆☆☆
5 めいこ	どしゃぶりのよる	ローレンツ/ハラリス	月 日	☆☆☆☆
6 めいこ	アランの前はでっかいぞこわいぞ	ジャック/文	月 日	☆☆☆☆
7 めいこ	こぼれおぼえのからがらどん	アラン/文	11月1日	☆☆☆☆
8 めいこ	でぶくる	つとむ 洋子	月 日	☆☆☆☆
9 めいこ	うらしまたろう	時田 史郎/両誌	月 日	☆☆☆☆
10 めいこ	たいくとおにろく	松野 洋子/両誌	月 日	☆☆☆☆
11 めいこ	ながぐつをはいたねこ	いとう みく/文	月 日	☆☆☆☆
12 めいこ	おはながたけのこや	アラン/文	11月1日	☆☆☆☆
13 めいこ	ふしぎなナイフ	吉村 謙三/文	月 日	☆☆☆☆
14 めいこ	うらバンコケ	谷川 実	月 日	☆☆☆☆
15 めいこ	おろさまがえつてくる100びょうず	石原 伸子	11月1日	☆☆☆☆
16 めいこ	アキラからみると	森田 隆一/文	月 日	☆☆☆☆
17 めいこ	いきものかくれんぼ	松田 幸子/文	7月1日	☆☆☆☆
18 めいこ	さくら	長谷川 帆子/文	月 日	☆☆☆☆
19 めいこ	たいきく	中野 實/両誌	11月1日	☆☆☆☆
20 めいこ	どうぶつのおちやんとおがねん ゴリラ	スージー・エスターハム	月 日	☆☆☆☆

「学年別ブックリスト」～1年生の記録から～みやき町立図書館のお勧めブックリストを活用している。本校にない図書については、町立図書館から取り寄せて、各学年30冊の図書を推奨している。1冊ごとに読み終わると、「読んだ日」と「おもしろさ」を☆の数で表していく。

120	150	170	200	220
50	270	300	320	350

読んだ数までスタンプを押してもらってね。50冊ごとにしおりがもらえるよ。

「読書スタンプ」
図書館の本を10冊借りるごとに、図書委員会からスタンプを1個押してもらおう。委員のメンバーが手作りしたしおりも一緒にプレゼントしている。100冊読むと、カードも2枚に更新され、さらに記録が伸びていくようにしている。

72年前、本校児童が尊い命を失った「天建寺渡し船転覆事故」の資料を展示

②環境整備 季節や行事、テーマに合わせた本の掲示を心がけている。

〈変化ある図書室づくり〉



SDGs コーナー



いのちのコーナー



〈ポップによる本の紹介〉

朝の読み聞かせやお話会が感染対策のために開催されないことが多く、それに代わる取組である。昨年度から始まり、今年度が2年目となる。お勧めの本で所蔵がない本は、購入したり町立図書館から取り寄せたりしている。図書委員会もPOPを作成して、読書の推進につなげている。



〈貯蔵の充実〉



本校の元校長であった青木先生の御厚意で、平成元年度から毎年、本の寄贈をいただいている。そのおかげで、毎年たくさんの新刊本を購入することができている。寄贈していただいた本のコーナーは、「青木文庫」として子供たちに親しまれている。(蔵書数：10,545冊)

③ 図書館まつり

〈図書委員会による広報活動〉

朝会で、「図書館まつり」の取組紹介を全員のメンバーで行った。2学期は、ブックリストの本の推奨を中心に行った。そ



の中間報告を行うことで、さらに、全校児童の読書意欲につなげていった。

この後には「しおりコンテスト」を予定していたので、その企画についての呼びかけも行うことができた。



「しおりコンテスト」 読書が楽しくなるようなしおりを全校児童から募集する。今年は、図書委員の発案で職員が審査員をし、各学年から最優秀賞と優秀賞を決定した。



「読書でパズル」 白黒版の「おしりたんてい」の絵をパズルの土台とし、クラスみんなで色付きピースを集めてパズルを完成させていく。ピースは一人一枚、期間中に10冊読むともらえるようにした。ほとんどのクラスで完成させることができた

「はらぺこあおむし読書チャレンジ」 ブックリストの本を読むごとに「はらぺこあおむし」の体が大きくなっていく。全校みんなでつなげていった。図書室横の廊下に掲示していたが、あおむしの体がどんどん大きくなっていくことで、全校児童の読書意欲につながった。

「1日図書委員体験」 3学期から、新メンバー体制での活動となる。委員の対象となる4・5年生に、図書委員会の仕事のお試し体験として、この企画を行った。次の機会には、全校児童対象も検討している。



⑤学年別教科書掲載図書リスト ～本の世界を広げよう～



国語の教科書の巻末や単元後に紹介されている本を、各学年別にリストにして、図書館入り口にコーナーを設置している。2年生はアーノルド・ローベル作の本、5年生は椋鳩十作の本などを手に取る姿が見られた。国語で学習した後なので、同じ作者の本は読みやすい様子で関心が高く、読む本の世界も広がっていた。図書司書補から担任への呼びかけも、随時行っている。

また、読書感想文を書くための本選びの相談があった時なども、このコーナーの本を中心に勧めを行っている。